

調査結果

調査目的:各市区町村で把握している認知症の身元不明者及び行方不明者の状況並びに自治体における取組等を把握・分析し、今後の認知症施策に反映する。

調査対象:全国 1,741 市区町村

調査期日:平成 26 年 6 月 10 日～6 月 24 日

調査内容:

- (1) 市区町村で把握している認知症高齢者等の状況
 - ・身元不明者の状況(平成 26 年 5 月末日現在)
 - ・行方不明者の状況(平成 25 年度)
- (2) 市区町村において実施している施策(平成 26 年 4 月 1 日現在)
 - ・徘徊・見守り SOS ネットワークに類する事業
 - ・その他の事業
- (3) 見守り活動、行方不明者の搜索活動、身元不明者の身元確認等に係る課題

調査結果:

1. 身元不明者の状況

- ▶ 40 歳以上の身元不明者の状況について、市区町村、地域包括支援センター、保健所等の機関で把握している情報を、認知症以外の方も含めて調査した。
- ▶ 調査項目として、「対象者区分(認知症/認知症以外)」、「保護開始年月日」、「現在の居住場所」、「性別」、「推定年齢」、「本人の身元確認につながると考えられる有力な情報」等を設定した。
- ▶ 「身元不明者がいる」と回答した 139 市区町村(8.0%)で、認知症の身元不明者が 35 人確認され、その状況は以下のとおりであった。

(1) 身元不明者数

- ・ 346 人

(内訳): 認知症の方 35 人(10.1%)、認知症以外の方 311 人(89.9%)

(2) 認知症の方である 35 人に関する分析

① 「現在の居住場所」

- ・病院(精神科病院を含む。) : 10 人 (28.6%)
- ・特養・養護・有料老人ホーム等(サ高住を含む。) : 17 人 (48.6%)
- ・その他(救護施設など) : 8 人 (22.9%)

- ② 「性別」
- ・男性 : 24人 (68.6%)
 - ・女性 : 11人 (31.4%)

- ③ 「推定年齢」
- ・～60歳未満 : 1人 (2.9%)
 - ・60歳以上～70歳未満 : 6人 (17.1%)
 - ・70歳以上～80歳未満 : 18人 (51.4%)
 - ・80歳以上～ : 10人 (28.6%)

- ④ 「保護年月(保護開始年月日～平成26年5月末日)」
- ・～1年未満 : 1人 (2.9%)
 - ・1年以上～2年未満 : 6人 (17.1%)
 - ・2年以上～3年未満 : 8人 (22.9%)
 - ・3年以上～4年未満 : 5人 (14.3%)
 - ・4年以上～5年未満 : 1人 (2.9%)
 - ・5年以上～10年未満 : 8人 (22.9%)
 - ・10年以上～ : 6人 (17.1%)

<参考> 認知症以外の方(311人)に関する疾病分類

- ・精神疾患(統合失調症、うつ病、人格障害、解離性障害) : 79人 (25.4%)
- ・記憶障害(記憶喪失、健忘) : 60人 (19.3%)
- ・脳血管障害(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血) : 58人 (18.6%)
- ・発達障害(精神発達遅滞、知的障害) : 20人 (6.4%)
- ・意識障害 : 6人 (1.9%)
- ・高次脳機能障害 : 4人 (1.3%)
- ・上記のいずれかの混合 : 5人 (1.6%)
- ・その他(※判別不明を含む。) : 79人 (25.4%)

2. 認知症の行方不明者の状況

- ▶ 認知症の行方不明者の状況について、市区町村、地域包括支援センター、保健所等の機関で把握している情報を調査した。
- ▶ 調査項目として、「行方不明者数」、「行方不明者数の要介護度別の状況」、「発見者数(市区町村内／市区町村外)」、「発見者数のうち死亡者数」等を設定した。
- ▶ 「行方不明者の状況を把握している」と回答した855市区町村(49.1%)における状況は以下のとおりであった。

(1) 把握している認知症の行方不明者数

- ・5,201人(実人員)
- ・発見・未発見別の報告があった人数:4,778人
(内訳:発見 4,646人 (97.2%)、未発見 132人 (2.8%))

- ・発見の報告があった4,646人の発見場所
 - ・市区町村区域内：3,786人（81.5%）
 - ・市区町村区域外：860人（18.5%）

- ・発見の報告があった4,646人のうち、死亡者：383人（8.2%）

(2) 要介護度別の状況

- ・把握している：791/855 市区町村（92.5%）
- ・把握していない：64/855 市区町村（7.5%）

- ・要介護度別の回答のあった4,213人のうち、
 - ・認定なし：1,102人（26.2%）
 - ・要支援1：127人（3.0%）
 - ・要支援2：116人（2.8%）
 - ・要介護1：994人（24.0%）
 - ・要介護2：854人（20.3%）
 - ・要介護3：797人（18.9%）
 - ・要介護4：185人（4.4%）
 - ・要介護5：38人（1.0%）

3. 行方不明等に関する市区町村施策の状況

▶市区町村において実施している施策（平成26年4月1日現在）につき、各市区町村から報告のあった調査票を元に、以下の3つに類型化してとりまとめを行った。

○徘徊・見守りSOSネットワーク事業

地域の関係機関等による緊急連絡体制の構築等により、認知症高齢者等の行方不明が発生した際に、行方不明者の情報を共有し、連携協力して捜索活動を行い、早期発見・保護につなげるためのネットワーク事業

：616/1,741 市区町村（35.4%）

○GPS等徘徊探知システム等の事業

徘徊のおそれのある認知症高齢者等にGPS（全地球無線測位システム）等の位置情報システムを備えた端末を携行させ、行方不明になった際の現在位置を探索し、早期発見・保護につなげるための事業

：345/1,741 市区町村（19.8%）

○その他の事業（見守り体制の構築等）

在宅高齢者等の地域内での孤立防止等を目的とした地域住民等のネットワーク形成の構築に主眼を置いた事業など

：385/1,741 市区町村（22.1%）

○上記事業のいずれかを実施している市町村

：1,068/1,741 市区町村（61.3%）